

資産運用レポート：中小型株投信の快走

1 はじめに

下図は、2017年における株式投信の騰落ランキングです。上位15ファンドのうち、国内中小型株投信が9銘柄を占めました。

明治安田が運用する「小型株ファンド」を筆頭に、1年で基準価格が2倍近くになった投信ものも少なくありません。自分で個別銘柄を手がけるより、この手のファンドを買っておけばよかったと思われる方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

今月号の資産運用レポートでは、快走を続けている国内中小型株投信がどのような運用を行っているのか、また相場にいかような影響を与えているのかについて分析してみます。

★2017年 株式投信 騰落ランキング

投信名	運用会社	騰落率 (%)	純資産 (億円)	R&Iファンド分類
1 JPMジャパン・テクノロジー・ファンド	JPモルガン	105.70	35	国内株型
2 小型株ファンド	明治安田	96.18	195	国内中小型株型
3 日興グローイング・ベンチャーファンド	日興	95.94	191	国内中小型株型
4 SBI小型成長株ファンド ジェイクル	SBI	93.64	141	国内中小型株型
5 女性活躍応援ファンド	大和	73.18	144	国内株型
6 日興UBS中国A株ファンド	UBS	70.60	70	中国株型(ノーヘッジ)
7 ダイワ新興企業ファンド	大和	67.62	70	国内中小型株型
8 SBI日本小型成長株選抜ファンド	SBI	66.00	45	国内中小型株型
9 UBS中国株式ファンド	UBS	65.75	148	中国株型(ノーヘッジ)
10 MHAM新興成長株オープン	AMOne	62.51	219	国内中小型株型
11 SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリパイブ	SBI	62.11	313	国内中小型株型
12 SBI中小型割安成長株ファンド ジェイリパイブ(年2回決算型)	SBI	62.02	329	国内中小型株型
13 スパークス・プレミアム・日本超小型株ファンド	スパークス	61.80	108	国内中小型株型
14 HSBC インド・インフラ株式オープン	HSBC	61.26	79	インド株型(ノーヘッジ)
15 MHAM日本成長株オープン	AMOne	60.48	143	国内株型

2 姉妹ファンド

実は先ほどの15ファンドのうち、次の4ファンドは実質的に同じ姉妹ファンドです。投信名と運用会社が違うだけで、中身はほぼ変わりません。車に例えれば、トヨタ86とスバルBRZの違いと考えてもらえれば分かりやすいです。

- 小型株ファンド
- 日興グローイング・ベンチャーファンド
- SBI小型成長株ファンド ジェイクル
- SBI日本小型成長株選抜ファンド